

後援会報



CONTENTS

・後援会会長挨拶	2
・後援会副会長挨拶	3
・後援会事務局長挨拶	3
・第96回関東学生陸上競技対校選手権大会報告	4~5
・2017日本学生陸上競技個人選手権報告	5
・第101回日本陸上競技選手権大会報告	5
・新学生スタッフ	6
・茨城県陸上競技選手権大会授章式	7
・2016年度流通経済大学陸上競技部後援会に係る 事業会計収支計算書	7
・2017年度流通経済大学陸上競技部後援会に係る 事業予算書	7
・後援会役員名簿	8





日頃より後援会活動にご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

後援会会長に就任して無事二期目を迎えることができました。後援会役員、事務局の皆様方の協力のもと「陸上競技部の充実した活動の援助と会員相互および陸上競技部と会員との連携促進を支援する」という考えに基づいて運用してまいりましたがまだまだ満足できる活動ではなかったように思います。

引き続き後援会組織の更なる発展を目指し、陸上競技部の充実した活動ができるよう、会員相互の連絡を密に引き続き支援して参りたいと思います。

さて昨年は念願の関東インカレ1部の仲間入りを果し、強豪校との厳しい戦いに挑みました。結果は残念ながら2部降格となりましたが1部校との試合経験はきっと後輩に引き継がれ飛躍の機会になったことと確信しました。

今年は再度1部昇格を目指し監督、コーチ、選手一丸となって挑んだ結果、初の2部総合優勝というタイトルを成し遂げ再び1部昇格を果すことができました。私も日産スタジアムへ応援に足を運び、応援するスタンドと選手の一体感を肌で感じました。会員みなさまにおかれましてもぜひ後輩の勇姿を見に応援に来ていただければ幸いです。

当後援会は発足して5年目に入ります、今後も卒業生への周知活動と加入促進活動は必須と考えており陸上競技部への更なる支援をできるように努めてまいります。

今年度も後援会の運営基盤構築と共に、陸上競技部の活動向上と発展の一助となるよう、会員の皆様のご意見、ご要望をいただきながら、より良い運営に努めて参ります。

引き続き会員の皆様のご理解、ご協力を賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

流通経済大学陸上競技部後援会
会長 谷口 博之(18期生)

後援会副会長挨拶

皆様におかれましては、日頃より後援会の活動につきましてご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度より副会長を務めさせていただいております 渡邊 学と申します。何卒よろしくお願い申し上げます。

会長の谷口さんとは、高校・大学と陸上競技部で1学年後輩となります。

卒業後30数年を経て再び母校の陸上競技部後援会の活動に携わらせていただくとは夢にも思いませんでした。同好会発足より多くの先輩方がおられる中、微力ではありますが皆様と共に協力しながら務めさせていただいております。

例えば、今から14年前の7月の休日に龍ヶ崎を訪れた際、初めて母校の廣瀬記念グラウンドに立ち寄ったところ、偶然にも栗山コーチにお会いしたことが始まりでした。

その1年後、茨城県選手権の応援に行ったところ、部員が10名未満の少人数とのことで驚きましたが、翌年から田蓑監督を中心としたチーム力で年々、力を蓄えられ現在の活躍は言うまでもありません。堂々たる陸上競技部に変貌を遂げられました。

これもひとえに同好会発足から半世紀を超え、多くの先輩方と後輩達の築かれた功績、そして田蓑監督、大胡駅伝監督、田畑助監督を中心としたコーチの皆様のご尽力と選手の皆さんの日頃の地道な努力の賜物と感じております。

皆様におかれましてもご多忙のところとは存じますが、お近くにお越しの際は、ぜひとも母校のグラウンドや大会会場に足をお運びいただければ幸いです。

今後ともなお一層のご支援ご協力のほど宜しくよろしくお願い申し上げます。



流通経済大学陸上競技部後援会
副会長 渡邊 学(19期生)

後援会事務局長挨拶

昨年度より事務局長を務めさせていただいております。

陸上競技同好会、駅伝ブロック、駅伝部、陸上競技部の卒業生総勢467名の皆様と共に後輩達を応援していきたいと思っておりますので、今後とも後援会活動へのご理解、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

流通経済大学陸上競技部後援会
事務局長 栗山 一弘(23期生)



第96回関東学生陸上競技対校選手権大会報告

2017年5月25日(木) - 28日(日) 日産スタジアム(神奈川)

男子(2部)

総合優勝 90点

●100m

佐々木 健也(3) 牛久・茨城 10.97/予選5着
 斉藤 颯斗(4) 秋田商業・秋田 10.86/準決7着
 仁上 祐一朗(4) 流経大付属柏・千葉 10.61/決勝4位

●200m

斉藤 颯斗(4) 秋田商業・秋田 21.73/予選4着
 仁上 祐一朗(4) 流経大付属柏・千葉 21.71/準決7着

●400m

佐々木 裕仁(2) 弘前実業・青森 49.33/予選4着

●800m

小宮 堯(1) 印旛明誠・千葉 1:57.85/予選5着

●1500m

藤崎 真伍(3) 鹿児島実業・鹿児島 3:59.95/予選14着
 梶山 拓郎(1) 流経大付属柏・千葉 4:00.43/予選11着

●5000m

福留 大樹(4) 小林・宮崎 14:36.94/23位

●10000m

福留 大樹(4) 小林・宮崎 30:45.51/40位
 地福 詩音(3) 飯塚・福岡 30:53.99/41位

●ハーフマラソン

稲富 智希(4) 白石・佐賀 1:07:43/23位
 菊地 海斗(2) 流経大付属柏・千葉 1:09:52/51位
 磯谷 駆(2) 市立船橋・千葉 周回遅れ/失格

●110mH

庄司 圭汰(1) 霞ヶ浦・茨城 15.16/準決7着
 崎本 和誠(3) 那覇西・沖縄 14.51/決勝5位

●400mH

木村 隆清(1) 弘前実業・青森 55.30/予選4着
 崎本 和誠(3) 那覇西・沖縄 54.58/準決7着
 木村 翔(3) 弘前実業・青森 55.33/決勝8位

●3000mSC

藤崎 真伍(3) 鹿児島実業・鹿児島 9:09.20/決勝7位

●走高跳

鳥海 貴之(3) 東京学館船橋・千葉 2m03/3位
 横戸 寛之(4) 堀越・東京 1m95/14位

●三段跳

内澤 駿(2) 川崎市立橋・神奈川 15m09/6位
 平根 昌樹(3) 日立商業・茨城 14m39/14位
 藤田 遼(4) つばさ総合・東京 14m10/21位

●砲丸投

阪本 裕弥(3) 生光学園・徳島 14m61/2位
 北亦 将成(3) 紀央館・和歌山 13m60/3位
 米森 心悟(3) 能代松陽・秋田 13m26/7位

●円盤投

植田 紗綾人(3) 平工業・福島 43m80/優勝
 石井 光一(2) 滝川・兵庫 43m02/2位
 柿崎 雄人(4) 川口総合・埼玉 40m45/4位

●ハンマー投

北亦 将成(3) 紀央館・和歌山 60m03/優勝
 大島 崇弘(2) 東京学館・千葉 55m30/2位
 印田 怜司(3) 堀越・東京 52m93/4位

●やり投

森 将弘(2) 堀越・東京 61m10/8位
 森川 輝心(3) 星林・和歌山 58m91/11位
 吉岡 諒亮(3) 宮津・京都 57m18/14位

●十種競技

福島 優(4) 東京学館船橋・千葉 6394点/2位
 乾 涼輔(3) 城陽・京都 5891点/9位
 田中 宏明(3) 宮津・京都 5773点/10位

●4×100mR

田中 優作(2) 流経大付属柏・千葉
 仁上 祐一朗(4) 流経大付属柏・千葉
 40.45/決勝3位
 斉藤 颯斗(4) 秋田商業・秋田
 佐々木 健也(3) 牛久・茨城

●4×400mR

田中 優作(2) 流経大付属柏・千葉
 佐々木 裕仁(2) 弘前実業・青森
 3:17.65/予選3着
 本田 純基(4) 船橋法典・千葉
 黒川 真嗣(2) 越谷西・埼玉

2017日本学生陸上競技個人選手権報告

2017年6月9日(金) - 11日(日)
Shonan BMW スタジアム平塚(神奈川県)

男子(3部)

- 100m
クロサワ ヒカル
黒澤 光(M1)勝田工業・茨城 10.92/2位
- 200m
クロサワ ヒカル
黒澤 光(M1)勝田工業・茨城 21.94/7位
- ハンマー投
ネモト タイキ
根本 太樹(M2)霞ヶ浦・茨城 68m01/優勝
オクムラ マサヨシ
奥村 匡由(M1)甲南・滋賀 66m06/2位

女子(1部)

- 棒高跳
コムロ アヤノ
小室 彩乃(1)宮津・京都 2m90/19位
- 砲丸投
ヤマト ミズキ
大和 観月(4)霞ヶ浦・茨城 12m13/17位
カネコ メイナ
金子 明奈(1)安城学園・愛知 11m29/20位
- ハンマー投
コダテ ミハル
小館 充華(1)花輪・秋田 55m33/4位
ヤマト ミズキ
大和 観月(4)霞ヶ浦・茨城 54m06/5位
タダ カズハ
多田 一葉(4)東京学館・千葉 53m59/6位
- 4×400mR
コバシ チセ
小橋 知世(1)銚田第一・茨城
ワタナベ カンナ
渡邊 菜奈(4)千葉北・千葉 4:09.79/予選6着
スギヤマ マナミ
杉山 茉奈美(3)水戸工業・茨城
ミヤタ マイカ
宮田 まいか(2)つばさ総合・東京

本年5月25日(木)~28日(日)に行われた第96回関東学生陸上競技対校選手権大会(於:日産スタジアム)において、創部以来、初の2部総合優勝を果たすことができました。

昨年の1部での戦いは、残念ながら2部降格となり、本年は出戻りの戦いでしたが、一昨年までと違い、選手たちの底力が確実に上がった結果と受け止めています。2部降格が決まってからも1部で得点することを選手一人一人が目標に掲げて日々の練習に励んでいたことが今回の素晴らしい結果として表れたといえるでしょう。来年は再度、1部校への挑戦が待ち受けています。選手たちには、さらに目標を高く持って、日々精進してほしいと切に期待します。

陸上競技部監督 田夔 健太郎

男子

- 100m
クロサワ ヒカル
黒澤 光(M1)勝田工業・茨城 10.73/予選6着
- 200m
クロサワ ヒカル
黒澤 光(M1)勝田工業・茨城 22.03/予選6着
- 1500m
フジサキ シンゴ
藤崎 真伍(3)鹿児島実業・鹿児島 3:54.78/予選8着
- 110mH
サキモト カズマ
崎本 和誠(3)那覇西・沖縄 14.49/予選6着
- 3000mSC
フジサキ シンゴ
藤崎 真伍(3)鹿児島実業・鹿児島 8:53.20/優勝
- 円盤投
ウエダ サヤト
植田 紗綾人(3)平工業・福島 47m35/12位
- ハンマー投
ネモト タイキ
根本 太樹(M2)霞ヶ浦・茨城 66m21/4位
オクムラ マサヨシ
奥村 匡由(M1)甲南・滋賀 60m58/11位
キタマタ ショウセイ
北亦 将成(3)紀央館・和歌山 60m23/12位

女子

- ハンマー投
タダ カズハ
多田 一葉(4)東京学館・千葉 53m68/9位
ヤマト ミズキ
大和 観月(4)霞ヶ浦・茨城 52m71/12位
コダテ ミハル
小館 充華(1)花輪・秋田 52m40/14位

第101回日本陸上競技選手権大会報告

2017年6月23日(金) - 25日(日)
ヤンマースタジアム長居(大阪)

男子

- 100m
クロサワ ヒカル
黒澤 光(M1)勝田工業・茨城 10.57/予選4着
- ハンマー投
ネモト タイキ
根本 太樹(M2)霞ヶ浦・茨城 67m59/4位
オクムラ マサヨシ
奥村 匡由(M1)甲南・滋賀 63m40/10位

女子

- ハンマー投
コダテ ミハル
小館 充華(1)花輪・秋田 56m76/11位
ヤマト ミズキ
大和 観月(4)霞ヶ浦・茨城 53m75/15位

新学生スタッフ

7月4日に流通経済大学陸上競技部の代替式を行い、新体制でのスタートを切りました。

(前)齊藤主将から、後輩達への言葉“今自分たちが置かれている環境は当たり前ではない。当たり前とは思わず、周囲の人たちに感謝しながら競技に打ち込んでください”後輩達も心機一転、気を引き締めて取り組むことでしょう。

役 職	旧学生スタッフ		新学生スタッフ	
主 将	サイトウ 齊藤 颯斗	秋田商業・秋 田	キタマタ 北亦 将成	紀 央 館・和歌山
主 将 (駅 伝)	フクドメ 福留 ヒロキ	小 林・宮 崎	箱根駅伝終了後決定	
主 将 (女 子)	ヤマト 大和 ミツキ	霞 ケ 浦・茨 城	オカダ 岡田 萌	水戸第三・茨 城
副 主 将	フクシマ 福島 マサル	東京学館船橋・千 葉	イヌイ 乾 リョウスケ	城 陽・京 都
			サキモト 崎本 カズマ	那 覇 西・沖 縄
短距離ブロック長(100)	ニカミ 仁上 ユイチロウ	流経大付属柏・千 葉	ササキ 佐々木 ケンヤ	牛 久・茨 城
短距離ブロック長(400)	ホンダ 本田 ジュンキ	船 橋 法 典・千 葉	キムラ 木村 ショウ	弘前実業・青 森
跳 躍 ブ ロ ッ ク 長	フジタ 藤田 リョウ	つばさ総合・東 京	トリウミ 鳥海 タカユキ	東京学館船橋・千 葉
中・長距離ブロック長	ワタナベ 渡邊 カンナ	千 葉 北・千 葉	ゴトウ 後藤 リョウタ	中 央・茨 城
投 擲 ブ ロ ッ ク 長	タダ 多田 カズハ	東 京 学 館・千 葉	スガイ 須貝 ナオト	勝 田・茨 城
混 成 ブ ロ ッ ク 長	フクシマ 福島 マサル	東京学館船橋・千 葉	タナカ 田中 ヒロアキ	宮 津・京 都
主 務	イサカ 井坂 ミク	太 田 一・茨 城	イサカ 井坂 ミク	太 田 一・茨 城

流通経済大学 陸上競技部

(新)主将 北亦 将成(写真左)



流通経済大学陸上競技部の主将になりました。経済学部3年の北亦将成と申します。

今年の関東インカレでは2部総合優勝を果たし、再度1部に昇格することができました。(前)齊藤主将が築き上げてきたものを、うまく自分の代に繋げていき、1部で戦えるようなチームにしていきたいと思ひます。

昨年は1部との差を痛感しましたが、来年はリベンジする思いで挑みたいと思ひますので、今後とも皆様の応援をよろしくお願い致します。

茨城県陸上競技選手権大会授章式

7月2日(日)にケーズデンキスタジアム水戸で行われた茨城県陸上競技選手権大会において、田簔健太郎陸上競技部監督(写真左)と栗山一弘後援会事務局長(写真右)が、長年にわたり茨城県の陸上競技に大きく貢献したと評価され、茨城県陸上競技協会会長賞が授与されました。



2016年度 流通経済大学陸上競技部後援会に係る事業収支計算書

自 2016年4月1日 至 2017年3月31日

流通経済大学陸上競技部後援会
(単位:円)

科 目	金 額	
I 収入の部		
1 会費収入	5,000*116口	580,000
2 繰越金		28,679
3 応援グッズ収入		21,550
4 利息収入		1
当期収入合計 (A)		630,230
II 支出の部		
1 事業費		
会議費		40,000
強化練習支援に関する事業費		15,185
大会支援に関する事業費		7,466
贈呈品		20,000
応援グッズ作成に関する事業費		48,000
会報誌作成に関する事業費		55,080
2 管理費		
事務費		25,255
通信郵送費		56,476
雑費		1,728
3 借入金返済		200,108
当期支出合計 (B)		469,298
III 次期繰越額(A)-(B)		160,932

2017年度 流通経済大学陸上競技部後援会に係る事業予算書

自 2017年4月1日 至 2018年3月31日

流通経済大学陸上競技部後援会
(単位:円)

科 目	金 額	
I 収入の部		
1 会費収入	5,000*120口	600,000
2 繰越金		160,932
3 応援グッズ収入		20,000
当期収入合計 (A)		780,932
II 支出の部		
1 事業費		
会議費		40,000
強化練習支援に関する事業費		60,000
大会支援に関する事業費		30,000
贈呈品		50,000
応援グッズ作成に関する事業費		50,000
会報誌作成に関する事業費		60,000
勧誘パンフレットに関する事業費		50,000
2 管理費		
事務費		30,000
通信郵送費		100,000
雑費		2,000
当期支出合計 (B)		472,000
III 次期繰越金(A)-(B)		308,932

後援会役員名簿

会 長	タニグチ 谷口 博之	ヒロユキ マナブ 学	運 営 委 員	シミズ 清水 和弥	カズヤ マサハル 昌明	事務局員	スガワラ 菅原 敬弥	タカヤ コウヘイ 滉平
副 会 長	ワタナベ 渡邊 啓紀	ヒロキ マナブ 学		ミヤカワ 宮川 三	ミチホ 三 千帆		スズキ 鈴木 大志	タイシ タイシ 大志
幹 事	ハシモト 橋本 一弘	ヒロキ マナブ 学		クラモチ 倉持 昇	ミチホ 三 千帆		フクオカ 福岡 茂樹	シゲキ シゲキ 茂樹
事務局長	クリヤマ 栗山 和也	ヒロキ マナブ 学		ワダ 和田 翼	ノボル ノボル 昇	監 査	エサキ 江崎 智晴	シゲキ シゲキ 茂樹
会 計	ミヅチ 三 智	ヒロキ マナブ 学		オガワ 小川 悠貴	ツバサ ツバサ 翼		ミズタ 水田 智晴	チハル チハル 晴



発行 流通経済大学陸上競技部後援会
〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市平畑120
流通経済大学 田箆研究室
TEL 0297-60-1919
<http://rku-kouekai.com>